

# 「飛騨美濃古老の思い出話」の方言資料的価値 1

Reevaluation of “Hida-Mino old memories” as dialectal materials

山田 敏弘

YAMADA Toshihiro

lingua@gifu-u.ac.jp

## 1. はじめに

言語は、文法記述、語彙記述、そして談話資料があることによって永久的に保存される。これは、方言とて同じことである。

岐阜県の方言に関しては、すでに、山田(2002, 2003, 2004, 2006, 2012a)において文法的特徴を地域ごとに記述し、語彙については、山田(2012b, 2012c, 2012d, 2013, 2014)を山田(2017)にまとめることで、事項別整理を終えた。そして、談話資料の充実が課題として残った。

岐阜県方言の談話資料は、国立国語研究所編(1978-1987)『方言談話資料』には含まれていないが、国立国語研究所「方言録音資料シリーズ」4として刊行された奥村三雄編(1968)『岐阜県不破郡垂井町岩手方言』では、同地方言の書き起こしデータと録音された音声資料1時間余りがWeb公開されており、だれでも聴くことができる。また、同所編(2005)『全国方言談話資料データベース 日本のふるさとことば集成』第9巻には、1979年採録の約14分の中津川市苗木方言録音資料が収められている。一方、NHKの刊行物『NHK全国方言資料』にも、吉城郡古川町(現 飛騨市)、揖斐郡久瀬村(現 揖斐川町)、郡上郡白鳥町石徹白(現 郡上市)の談話が、約30分ずつ納められている。しかし、いずれも、全国資料の一部としての扱いであり、岐阜県内の分量は限られる。

岐阜県内の録音資料のある方言談話資料としては、大阪大学社会言語学講座編(1996)として飛騨白川村の資料が公開されている(音声データ非公開)。一方、郡上市明宝の『奥美濃よもやま話』全5巻は、直接の談話資料が残っているわけではないが、編者である金子貞二氏が吹き込んだ録音資料が残っており、こちらも音声と併せて方言談話を見ることができる貴重な資料である。ほかに、山口幸洋(2002-2006)の一連の研究があり、こちらは音声資料が一般公開されていないが、詳細な書き起こしがあり貴重なデータである。

それでもなお、地域的偏りに加えて絶対的の分量が少ない。岐阜県内各所におけるより分量のある方言談話資料が求められる。

今回、昭和40年代に採取された方言談話資料に基づいて刊行された岐阜県図書館編(1970)『山と水に生きる中・西濃篇』、および岐阜県図書館編(1971)『山と水に生きる 東濃・飛騨篇』は、その音声資料が岐阜県図書館で公開されている。収められたCDの枚数は100枚以上、総録音時間は110時間以上である。この資料は禁帯出となっていることから推測されるように、話者の著作権処理がなされていない。とはいえ、多くは明治期の生まれの話者によって語られた昭和中期の話しことば資料として重要なものである。この音声資料をなんとか岐阜県の方言談話資料として活用できないか、活用できたら岐阜県にとって貴重な財産になると考え、その整備を企図した。

ただ、やはりすべてを公にするためには、話者、あるいは遺族に許諾を得る必要がある。今回は、研究という範囲で許される「引用」という形で、その内容を踏まえ考察をおこない、その価値を述べることにする。それによって、将来なされる著作権処理が済めば、貴重な共有財産が生まれる、その基礎としたい。

## 2 録音資料データ

「飛騨美濃古老の思い出話」録音資料は、110枚のCDに収められている。そのCDに記されたデータをまと

めて挙げる。順に、録音場所／録音年月日／話者生年(性別)／内容である。それに、収録時間を[時間:分:秒]の形で付け加え、『山と水に生きる』所収の話については、岐阜県図書館編(1970)『山と水に生きる 中・西濃篇』所収資料を①、岐阜県図書館編(1971)『山と水に生きる 東濃・飛騨篇』所収資料を②と記号で末尾に記した。なお、内容については、CDに付された説明のものをそのまま使用した(106,107を除く)ため、若干の仮名遣いの違いや現代では不適切な用語もある。

1. 山岡町久保原 話者宅/S43.7.7/M12 生(男)・M38 生(男)／日清戦争のこと 濃尾大震災について／遠山小学校建築についての問題／村長をつとめていた頃／日露戦争／村に入って来た珍しい物／米騒動／ラジオが初めて村に入った時／農村の不況／農協の変遷と米穀統制の問題 終戦当時のようす [1:06:45] ②
2. 土岐市妻木町門田 話者宅/S43.8.4/M23 生(男)／登り窯の時代、仕送り窯について、妻木中碗工業組合結成について、妻木の矢ぶさめについて、米騒動について、企業合同について [0:30:30] ②
3. 多治見市山下町 話者宅/S43.7.23/M31 生(男)／子どもの頃の思い出／岐阜 68 連隊にいた頃／米騒動と多治見／上絵付業について [0:56:57] ②
4. 多治見市本町 話者宅/S43.7.22/M22 生(男)／明治時代の陶器商人のしきたり、台湾での行商、陶器界の変遷、商人と窯焼の関係、関東大震災と当時の商 [0:41:33] ②
5. 多治見市脇之島 話者宅/S43.8.16/M22 生(男)／脇之島池田の川替え騒動(M25)、日露戦争と地域のようす、盲人の点字による選挙権獲得の運動について(大正時代) [0:29:11]
6. 多治見市三笠町 話者宅/S43.8.15/M26 生(男)・M31 生(女)／明治44年の大水、カネカへ小僧に行っていた頃、大正7年悪性感冒の流行について [0:36:56] ②
7. 土岐市泉 農協会議室/S43.9.7/M39 生(男)・M20 生(男)／戦前における製陶労働運動及び無産大衆運動について [0:50:04]
8. 多治見市神楽町 話者宅/S43.7.27/M27 生(男)／明治2年の神明騒動(母からの聞き伝え)、中央線開通当時のようす、米騒動 大正14年の水害、製陶労働運動(昭和初期)、戦時中の企業合同 [0:22:08 + 0:22:42]
9. 多治見市白銀町 話者宅/S43.8.12/M38 生(男)／多治見画工組合の結成及び製陶労働運動について(昭和初期) [0:11:41] ②
10. 蘇原町蘇原駅前 話者宅/S43.8.11/M34 生(男)／父の職業、小学生のころ、高等科を卒業してから、飛行場ができた(T5 飛行大隊ができる)、飛行学校、川崎航空機工場ができて(T10.12~T12.4 落成)、各務野にあったことで少年のころの思い出、各務野での松ごかきで生活をささえた 開墾 練兵場になったころ(M.41)、大砲の演習とその被害、国鉄(T9.11.1 各務原駅まで)と私鉄(T15.1.12 安良田町から第2 飛行隊付近まで)、飛行場ができて九ヶ村が南と北とに分断される、川崎航空機工場ができ拡張されて、戦後米軍から神社の宝物を守る [2:13:46] ①
11. 岐阜市芥見大退 話者宅/S43.8.8/M29 生(男)／小学校の思い出、丁稚奉公、明治新政と地方の動き、明治初めの地位の違い、各務用水について、親のしつけ、お伊勢参り、日露戦争(M.37~38)、電燈(M.44)、名古屋での思い出、交通の便、小作争議、藍川橋(S.2)、蘇原銀行の閉鎖(S.6)、公職追放(S.20~26) [1:20:32 + 0:22:42]
12. 岐阜市長森野一色 話者宅/S43.8.11/M19 生(男)・M43 生(男)／日露戦争、北長森に68 聯隊ができる(M.41)、68 聯隊跡の解放、電車が通る(M.44)、電燈がひける、蘇原銀行閉鎖前後のようす(S.6) [1:16:49 + 0:04:14] ①
13. 美山町畑野 話者宅/S43.8.12/M17 生(男)／濃尾震災(M24.10.28)、小学校のころ、出征日露戦争従軍、夜逃げ、大雨、台風、電燈、紙すき、山村の工業 [2:02:56] ①
14. 加納清水町 話者宅/S43.12.28/M29 生(男)／加納の傘、小僧時代、三問屋の話、加納の傘はりのようす、材料のうつりかわり、傘のすたれたわけ、この頃また売れだした、加納のうつり変わり、シベリア出兵 [2:02:56] ①
15. 岐阜市湊町 話者宅/S43.8.25/M18 生(男)・M42 生(男)／濃尾震災(M24.10.28)、港町あたりのうつり変わ

- り、長良橋、材木、紙、港のようす、ガス灯、米騒動、奉公、伊勢湾台風 [0:50:31+0:48:29] ①
16. 各務原市上戸町 話者宅/S43.12.29/M27 生(男)/各務野に大砲の実弾の演習場ができた話 [0:17:42] ①
17. 岐阜市岩田坂 話者宅/S43.12.27/M25 生(男)/電気(自家発電(M44~T.S.8)、産業組合との関係、既設の電気会社との関係、岐阜の電灯争議との関係、自家発電所の普及(水力発電)、電気の工場、第1次大戦中のインフレ、美濃電気軌道会社との関係、日本の発電事業)、日露戦争(M37~38)、電車(M.44~)、第1次大戦中のインフレ、第2次大戦中特高が来いやな思いをした [1:03:22] ①
18. 長良南陽町 話者娘宅/S43.8.24/M21 生(男)/鵜飼屋さんの生活のうつり変わりについてのお話、うかい屋、うかい屋へ奉公に出る、ご料場うかいで苦労した話、うかい船の労働の苦しさ、総がらみ、自分の船を持ってから、うかい船の船頭のくらし、大水の時、縁起をかつぐ、一生の間で一番苦しかった時代、岐阜が空襲で焼ける時のようす [1:35:30] ①
19. 御嵩町御嵩/S45.9.4/M26 生(男)/税務所、製糸工場、御嵩の町 [1:05:21] ②
20. 高山市左京町 話者宅/S43.6.27/M11 生(男)/戸籍の話、13才で先生をやったこと、米の値段 貨幣価値、階級制度についての感、昔の強盗、電灯がついた時、電灯にまつわる逸話、電気代と電灯会社、戦争について、交通関係 - ボッカ、旅 - 京なまり、泊賃、茶代、小遣い、土地代、第一次世界大戦、ほんこさまのしきたり [0:57:04] ②
21. 吉城郡上宝村本郷 話者宅/S43.11.24/M31 生(男)/青年クラブのこと、蒲田温泉のこと、作男や日傭のくらし、山の木材の話 耕地整理、寺の火事と日露戦争、学校統合とそれに伴う争い、明治天皇の薨去、大災害の話、村の予算、この頃の世相の話、上宝の共産党、上宝のゴンボダネ、新しいものが入ってきた時の話、日露戦争の頃、第一次大戦後の不況 [1:48:42] ②
22. 吉城郡宮川村塩屋公民館/S43.12.18/M20 生(男)・M20 生(男)・M28 生(女)・M32 生(女)/地芝居、盆おどり、水害のこと、くらし - 食物など、作馬のこと、交通の話、わらじつくり、学校生活、戦争について、小遣いや菓子、お産の様子と安産の神様、電灯と鉄道、病気、糸引きに行ってきた話、えいよう節 その他の唄、夜ばいの話 [1:06:05+1:02:09] ②
23. 吉城郡古川町向町今宮 話者宅/S43.12.26/M19 生(男)/学校時代、製板(製材)を水車でまわした、食物 - 塩せんべい・酒、蚕種製造、教育 - しつけのしかた、古川大火のとき(明37)、戦争と兵隊送り、桑市の話、舟橋のこと、七夕 盆おどり、力くらべ、車が入ってきた、郵便持ち、オジャミの唄 [1:05:29] ②
24. 吉城郡神岡町朝浦町 話者宅/S43.11.24/M16 生(男)/日清・日露のころ - 徴兵 -、紺屋(染物屋)をやっていた頃、戦争の頃もうけた話、鉾山の話(ネコダ山師・鉾山で成功した人の話)、製紙に関する話、子どもの頃の遊び [1:05:32] ②
25. 吉城郡河合村角川 話者宅/S43.11.17/M25 生(男)/襲名のこと、梅村騒動の時の家の柱のきず、旅館をしていた時のこと、修学旅行と学校の話、紙つくりについて、柏木という豪族の話、娯楽 - 歌舞伎芝居と寺参り、電灯がついたこと、自給自足の生活、自転車とゴム靴が入ってきた、戦争について、ひえづくり、作馬のこと、山の木 [1:05:39]
26. 吉城郡国府町金桶 話者宅/S43.9.22/M18 生(男)/青年会入会の時の振舞、騎兵隊入隊、神社のこと、村長になってから追放まで、兵隊に行っていた時のこと、戦争について、ニュースは役場から、電灯の話、交通のこと、旧制中学の頃、自転車、農地解放、村長のころの話、水場関係の事件 [0:58:06] ②
27. 高山市宗猷寺町 話者宅/S43.8.18/M20 生(女)/本家(実家)の話・製糸油屋の話、女学校と長女の誕生 糸をはかる、電灯がついて、洋服と王様クレヨン、質屋をした話、戦争について、婿さ見 嫁さ見、鐘鋳り、朝市 昔は桑市、食べ物 [0:08:26+0:37:05] ②
28. 高山市本町 話者宅/収録日不明/M20 生(女)/日露戦争、嫁に来る時の話、学校へ行っていた時の話、糸ひきの話、古川大火、高山祭、食物 [0:28:30]
29. 加茂郡白川町黒川 話者宅/S43.8.6/M20 生(男)/近衛騎兵入隊当時体験談(M41)、黒川鉾山の話、黒川製糸工場の話、地芝居の話、消防組発足時の話、民謡、漁業組合発足と鮎の放流はじめの話(S6)、電灯のはじ

- め 夜ばいの終りの話(T.12)、交通通信の話 [1:03:36] ㊦
30. 加茂郡富加村加治田絹丸 話者宅/S43.6.29-7.1/M23 生(男)/加茂事件に関する父の話(M17 加茂事件)、加藤事件に関する父の話(M.24 加藤事件)、小作争議と平井地主の話、水利問題の話、徴兵免除の話、民謡 [0:58:36]
31. 加茂郡東白川村越原栃山 話者宅/S43.7.4/M15 生(男)/日露戦争体験談、シベリヤ出兵体験談、戦争について、蚕種製造の話、自転車のはじめ、活動写真のはじめ [0:38:02]
32. 加茂郡八百津町錦織/S43.8.12/M21 生(男)/筏乗り体験話 ※岐阜県図書館(1971)では、ほかに、M26 生(男)と M29 生(男)も話者としてあげられている [1:00:11] ㊦
33. 美濃加茂市川合町 話者宅/S43.11.24/M20 生(男)/頭筏乗り体験談(木曾川の船頭・鴨緑江)、天竜川の筏乗り(朝鮮における砂金採掘) ※CD 破損 ㊦
34. 美濃加茂市伊深町 話者宅/S43.7.12/不明(男)/小作農経営の話、共同購入組合(共営組合)設立の話(大正以降) [1:30:58]
35. 加茂郡東白川村越原日向 話者近所宅/S43.11.24/M17 生(女)/バス白川線開通までの交通の話、北海道・南米移民の話、結婚当時の話、交通の話、地狂言の話、研修会「済美会」の話(明治)、明治大正期の文明機械器具他 雑談、農地解放の話、馬喰の話、医者・手術の話、人力車の話 [0:34:43]
36. 加茂郡東白川村越原/収録日不明/M30 生(女)/製糸女工体験者の歌 [0:15:03]
37. 加茂郡東白川村越原/収録日不明/M19 生(女)/信州製糸女工体験談 [0:12:26]
38. 瑞浪市稲津町/S45.9.8/M27 生(男)/こどものころ、製土業、土人形・瓦焼き [0:58:39] ㊦
39. 恵那郡福岡町高山 話者宅/S43.6.9/M2 生(男)/明治初年頃の小学校生活(M.10 頃)、調停役をしていた頃、問題になったこと(M26-) [1:04:00]
40. 恵那郡坂下町 話者宅/S43.6.18/M22 生(男)/中央線開通当時の話(M41.8.1 坂下駅開通)、製糸業について (T.7-)、満蒙開拓団について(S.7-) [0:43:14] ㊦
41. 恵那郡坂下町字握 話者宅/S43.6.18/M23 生(女)/蚕種製造について(M.19-)、はじめてラジオが入った時のこと(T.14) [0:18:56+0:26:45] ㊦
42. 恵那郡坂下町握 話者宅/S43.6.18/M32 生(男)/坂下町の満蒙開拓団について(S13-21) [0:52:18]
43. 恵那郡福岡町高山 話者宅/S43.6.17/M19 生(男)/高山木積沢の開墾とはじめて肥料を使い出した頃の話 (M.27)、高山部落ではじめて発電所をつくり配電した頃の様子(T13.4) [0:44:59] ㊦
44. 恵那郡付知町 話者宅/S43.8.8/M21 生(男)/御料林の盗伐の話、付知川の川狩りの話 [0:35:16] ㊦
45. 中津川市苗木室屋 話者宅/S43.11.22/M25 生(男)/美恵橋架橋工事についての話(T11.11.23 着工)、苗木藩騒動に関する話(M9 頃) [0:48:33] ㊦
46. 中津川市新町 中津川農協/S43.11.30/M27 生(男)/神坂地区合併の話(S.30 頃より) [0:38:45+0:36:40]
47. 中津川市宮町 西宮神社社務所/S43.8.16/M21 生(男)/明治 30 年代の修学旅行の話、日露戦争出征の話 (M.38) [0:40:15] ㊦
48. 中津川市桃山 話者宅/S43.9.25/M13 生(男)/中津町の様子(明治中期頃)の話、中津町にキリスト教会のできた頃の話 [0:49:24+0:16:36] ㊦
49. 恵那市中野方 安江起夫宅/S43.12.9/M16 生(男)・M23 生(男)・M38 生(男)/中野方の生活全般についての話(明治中期→昭和初期) [1:23:49] ㊦
50. 揖斐郡春日村六合 話者山小屋/S43.8.2/M27 生(男)/明治年代の春日村の交通、学校について 青年会炭やき おくりやま(M 初年)、炭やき・養蚕を中心とした生活の実態、あそびについて、日露戦争 薬師さんのはなし、小島城にまつわるはなし、ほたる合戦、戸田領であったころのはなし、伊勢まいり たのしみ [0:57:50] ㊦
51. 揖斐郡春日村下ヶ流 話者宅/S43.8.2/M30 生(男)/五日講のいわれ [0:10:15]
52. 揖斐郡池田町沓井 話者宅/S43.8.1/M22 生(男)/加茂神社と熊野神社、村長について、濃尾震災について、

- 水害について(M29)、酒造り(M.8)、花火、大正元年、伊勢まいり、小作争議 [0:31:16]
53. 揖斐郡大野町黒野 話者宅/S43.7.29/M26 生(男)/服装など小学校時代のような、夏まつり・水泳、入浴、電燈(M35)、節約をしいられた時代(T.7~8)、水防、消防組、赤痢が発生したこと、旧校舎の位置、冠婚葬祭の習慣、のりもの、横山弥五郎、たのしみ(ばんしゃく)、花柳界、西濃製糸、開明座・丸合座、オートバイ、月賦販売 [0:29:47] ①
54. 揖斐郡揖斐川町黒田 話者宅/S43.8.1/M22 生(男)/濃尾震災の話、小島小学校の話、結核、山村の食生活、酒造り、上久瀬川 交通関係、蓄音器をはじめてきた話(M31)、活動写真(M.31) あかりの歴史、月給とりの生活 [0:56:47] ①
55. 揖斐郡久瀬村乙原 話者宅/S43.8.21/M18 生(男)/分村問題(T.9)、登記所問題(T.9)、郵便局設置問題、学校設置問題、産業 [0:28:40] ①
56. 揖斐郡坂内村広瀬 話者宅/S43.11.24/M33 生(男)/産業(養蚕・木炭・製紙)、物資の運搬、米の自給と出かせぎ、滋賀県との関係、やきはた・分家のくらし、まつりとおどり、家畜のうつりかわり、揖斐までの道、村の将来、方言・歌、農協 [0:45:28+0:08:53] ①
57. 揖斐郡坂内村川上 話者山小屋/S43.11.24/M19 生(男)/明治の新政、戸主ゆずり、村山の分配、米づくり、段木ぎり、日露戦争のころのこと、滋賀県とのつながり、夜叉が池、兵隊のはなし、広瀬のいいつたえ、他所者入り、村の酒もり、たにから [0:56:37] ①
58. 揖斐郡徳山村門入 話者宅/S43.8.28/M42 生(男)/山の配分、段木、火事について、部落のなりたち、戦争について 地名、食べ物、医者、おどりの歌 [0:56:29] ①
59. 揖斐郡徳山村横山 善勝寺本堂/S43.11.23/M32 生(男)/交通の話 [0:09:11]
60. 益田郡下呂町焼石 矢島理容店/S43.8.6/M20 生(男)・M22 生(男)・M31 生(男)/話者の紹介、農地改革前の小作料、高山線開通当時のようす(昭和4年焼石駅開通)、明治・大正の農家の生活、明治時代における新家の成立、梅村騒動(明治2年)、明治時代の開田と飢饉対策としてのりょうぶ [0:27:50]
61. 益田郡下呂町火打 話者宅/S43.8.5/M12 生(男)/話者の紹介、日露戦争、明治・大正の村会議員の選挙、明治・大正の国会議員の選挙、明治時代の組合立の役場と村政、橋を3本かけた話、道路を広げた話(大正時代)、瀬戸発電所建設当時の話(大正10年)、共有林の分割(明治40年)、大正時代の女子工具 [1:03:34] ②
62. 益田郡金山町下原 話者宅/S43.8.22/M9 生(女)/話者の紹介、梅村騒動、濃尾地震(明治24年)、明治15年頃の小学校の生活(明治15年入学)、明治時代の結婚(明治26年結婚)、明治初期の官吏の接待、明治時代の選挙、明治時代の良家の娘の生活 [0:31:53] ②
63. 大野郡高根村日和田 話者宅/S43.8.14/M36 生(男)・M27 生(男)/話者の紹介、焼畑農業とそば作り、稲作の苦心、凶作の年の生活(大正3年)、日和田部落に伝わる盆踊りの歌、長い冬の生活、養蚕の移り変わり、日和田に伝わる宴席の歌、明治・大正の青年の遊びと結婚、日和田部落における徴兵忌避(明治10年)、二・三男対策と小日和田新開地(戦後)、日和田部落に伝わる伝説、日和田部落に入った最初の自転車(大正)、高山線の開通とその影響(昭和10年)、日和田部落の原家と馬小作(明治-大正-昭和)、わらひ粉の盛衰(明治-大正-昭和) [1:04:46+0:31:28] ②
64. 益田郡下呂町宮地 話者宅/S43.8.7/M17 生(男)・M20 生(男)・M18 生(女)/話者の紹介、明治25年頃の小学校、本家と分家、明治後期の農家の娘の生活と労働歌、明治時代に竹原にあった製糸工場、大正時代竹原にあった製麵工場(大正6年設立)、中央線と高山線の開通が竹原に与えた影響、明治時代の夜遊び [1:04:45] ②
65. 益田郡萩原町萩原 金森書店/S43.7.28/M12 生(男)/話者の紹介、明治20年頃の小学校のようす(明治18年入学)、明治初期の農家と馬、日露戦争、下呂町における自転車の乗り初め(明治34年)、明治時代の人力車と宿屋、乃木将軍の来飛(明治44年頃)、梅村騒動の伝え聞き(明治2年梅村騒動)、下呂温泉の発展(明治・大正・昭和)、下呂温泉芸者(明治30年頃) [0:58:28] ②
66. 本巣郡南町呂久 話者宅/S43.11.10/M13 生(男)/伊勢ぬけ参り、呂久の渡船、揖斐川の水運 [0:42:10]

- Ⅱ
67. 本巣郡根尾村樽見板屋 話者宅/S43.7.27/M6 生(男)/明治の学校のような、濃尾大震災について (M24.10.24) [0:23:00]
68. 本巣郡穂積町十九条 話者宅/S43.8.2/M10 生(男)/犀川事件(について(S4.1.8)、部落間の水争い(恵水路ができる前)、小作争議について、悪水路の完成後 [0:40:24] Ⅱ
69. 羽島郡岐南町平島 話者宅/未記入/M16 生(男)/濃尾大震災について(M24.10.24)、曾北水利組合について (T.13)、木曾川水防について [0:43:43]
70. 羽島郡笠松町下本町 話者宅/S43.9.30/M24 生(男)/木曾川の渡し、伊勢ぬけ参り、旅順陥落の感慨 (M38.1)、日露戦争の戦時体制、小学校の思い出、笠松競馬場について(S5.1 開設)、木曾川のます [0:22:45 + 0:54:22] Ⅱ
71. 本巣郡根尾村市場/S43.7.27/M34 生(男)・M31 生(男)/大正元年の台風、根尾村への文化伝来、小学校当時のようす、電燈がつく、大正初期の新聞、兵事について、生活のようす、昭和初期の養蚕について [1:11:44] Ⅱ
72. 本巣郡根尾村樽見/S43/M 不明年生(男)/新田開発と水の問題 [0:10:36]
73. 本巣郡根尾村中/S43.8.2/M11 生(男)/地震のようす、震災の復旧のようす、死亡した人について、災害援助について、土木復旧工事について、根尾の和紙製造について [0:44:22] Ⅱ
74. 郡上郡八幡町河鹿 話者宅/S43.7.31/生年不明 77 歳(男)/子どもの頃、日露戦争のこと、八幡町大火の件、自治機関の件、養蚕の件、炭焼きの件、食料の件、病気の件、農機具について [1:26:59 + 0:18:47] Ⅱ
75. 郡上郡高鷲村字中切/S43.12.10/生年不明 72 歳(男)/乗り物・交通その他について、田植えについて、宮の統合について、小作人と地主のこと、明治の頃の出稼ぎ、山のことで争ったこと、政治の争い、きつねにだまされたこと、伝説について [1:02:28] Ⅱ
76. 武儀郡武儀村若栗 話者宅/S43.12.15/M25 生(男)/子どもの頃について、学校時代のこと、上級学校進学のようす、師範卒業した時のこと、今日の教育と比べて違っていること、昔と今の子ども、学校の子どもに対する体罰について、運動会・遠足について、伊勢参りについて、乗り物について、日露戦争の頃、御戴天、電燈がついたこと、自転車について、高山線と電車 水害について、土屋氏夫人の子どもの頃の歌 [1:03:36] Ⅱ
77. 関市小瀬 話者宅/S43.8.1/M12 生(男)/鶺鴒について、濃尾震災について、いかだについて、渡船あゆの瀬橋について、村会議員 その他 [0:38:08] Ⅱ
78. 武儀郡中之保若栗 話者宅/S43.8.1/生年不明 73 歳(男)・生年不明 73 歳(女)/子どもの頃の遊び、水害、日露戦争の頃、飛騨街道、修学旅行、神淵・中之保水害、盆踊、豊年歌 [0:40:13] Ⅱ
79. 美濃市西市場町 話者宅/S44.1.3/M28 生(男)/子供の頃から郵便を引いたり、あゆを引いて岐阜まで行っていた話 (明治 41 年)、発電所の工事に参加された話 [1:32:38] Ⅱ
80. 美濃市東市場町 話者宅/S43.10.20/M28 生(男)/子供の頃から大工として弟子入り、美濃町線開通、越美南線開通、美濃銀行、米騒動 日露戦争、山東出兵 六八連隊 [2:10:45] Ⅱ
81. 美濃市常盤町 話者宅/S43.11.25/M18 生(男)/西南戦争に行ってきた人から聞いたこと、濃尾震災について (M.23)、日清戦争、渡船と紙すきについて、日露戦争、米騒動、自転車 [1:04:36] Ⅱ
82. 美濃市常盤町 話者宅/S43.12.22/M18 生(女)/日清戦争、渡船、濃尾震災当時のようす、日露戦争、製糸・蚕種、米騒動、美濃町線開通・人力車・越美南線・自転車、ばくち・ちょんまげ [1:06:14] Ⅱ
83. 郡上郡八幡町五町 話者宅/S43.7.31/生年不明 70 歳(男)/日露戦争、八幡町大火、徴兵検査、田植え歌 その他 [0:37:39]
84. 郡上郡白鳥町二日町北濃小住 話者宅/S44.1.10/M9 生(男)/母や両親から聞いた話、子どもの頃の遊びについて、第二次大戦前のこと、第二次大戦中の学校のようす、学校にスパイがきたこと、戦争中の食料不足と蛭ヶ野・切立野・上野の開拓、敗戦近くのようすについて、戦争に敗れたときのようすについて、敗

- 戦後の社会の変革について、外地からの引き揚げについて、米軍の高鷲村への進駐、農地改革と小作争議について、刈り分けについて、青年団の人達の活躍、戦後農村へ都会の人達が入りこもうとしていた、戦後の新興宗教について、終戦後の地震について 物資の不足、国鉄バス、用水路づくり、馬車について、自動車について、高校時代の修学旅行、イナゴ・赤トンボ、農家の作物のうつりかわりについて、江戸時代からの農家の浮き沈みについて、病気について、戦争が終ってサンマがはじめて食べれたこと、米などの統制に対する人々の動きについて、米がぬすまれたこと、北海道の開拓について(熊のはなし)、伊勢湾台風について [2:10:44+1:33:41]
85. 美濃市加治屋町 話者宅/S43.12.29/M19 生(男)/子どもの頃の学校のように、町のようす、日清戦争(明治22年)、渡船と橋、日露戦争、電燈・発電所、濃尾震災、美濃電鉄・越美南線、上有知銀行・美濃銀行、小作争議、雨乞い踊り、町の発展町村合併、盆踊り美濃町まつり、当時の商人の結婚式 [2:31:44] ①
86. 郡上郡白鳥町二日町 話者宅/S43.12.1/M38 生(男)/学校時代、かりこについて、百万円道路について、三島栄太郎氏のこと、ざっと町のこと、北濃地区の伝説 [1:04:57] ①
87. 郡上郡白鳥町白鳥 話者宅/S43.12.18/M25 生(男)/草刈り歌、田植え歌、さのさ、猫の子 場所踊り、為真名乗り二号、神代踊り、シッコイ、場所踊り、為真名乗り歌一号、シベリア出兵、学校時代 運動会 [1:01:22] ①
88. 郡上郡白鳥町白鳥 話者宅/S43.12.18/M25 生(男)/草刈り歌、田植え歌、踊りの歌、八つ坂踊り、盆踊りげんすけ、ねこの子踊り、場所踊り、しずめ歌、傘踊りよいとそりや、その他 [1:52:19]
89. 大野郡白川村荻町 話者宅/S43.8.9/M14 生(男)/日露戦争時代を中心にして当時のできごとを聞く、当時の学校の模様(M36)、日露戦争に出征した友人からの手紙、ボッカ(荷物運搬方法)の話、自動車の開通、その他の思い出話、大家族制についての話、食糧について(開田の苦心戸ヶ野部落を中心)、出稼について、塩分は大切なものであった話、高根鉦山工夫の歌、子供の時のかぞえ歌、甚句 [1:04:52+0:07:37] ②
90. 大野郡白川村字稗田 話者宅/S43.8.11/M29 生(男)/家族についての話(中切地区を中心)、庄川水系のダム建設と水利権争議の話(S3~4)、交通の話(明治末期から現在まで)・ボッカ(荷物を背負って運ぶ)・馬車・自転車・自動車、日露戦争当時の話、中切学校(平瀬尋常小学校)開校された当時の話、当時の先生の話、生活様式がかわってきた当時の話、平瀬発電所建設当時の話(T.13) [1:12:07]
91. 大野郡荘川村猿丸 話者宅/S43.12.10/M33 生(男)/荘川村へ軍隊がはじめて行軍した話(M44.7)、電話が開通した話(T10.10)、送電線架設と電灯争議の話(T13.11)、荘川村消防組結成当時の話(T12.12)、庄川水系のダム建設ともなう水利権争議の話(S3-6)、御母衣ダム建設当時の話 [1:00:09] ②
92. 可児郡御嵩町比衣/S45.9.3/M35 生(男)/養蚕、交通、亜炭、民俗・年中行事、電気・ラジオ、鉄道 [1:05:04] ②
93. 可児郡兼山町/S45.9.3/M33 生(男)/御神木送り、青年団、祭礼、ガス灯、電車、繭買い、天然氷 [1:03:52] ②
94. 加茂郡川辺町中川辺 話者宅/M43.8.26/M32 生(男)/八百津銀行などの雑談、各務原・岐阜の空襲、大正・昭和初期の地方銀行、電燈、交通・伊勢参り等、世界恐慌当時の地方銀行の様子、加茂郡銀行、大正元年の大風(この地方の人は大正風と呼びます)、高山線の敷設、筏流し [0:01:10+1:22:15] ②
95. 美濃加茂市下米田町西脇深渡 話者宅/S43.10.2&12.13/M6 生(女)/濃尾大地震、明治10年代の通学、人力車・質屋・川渡し、山之上町果樹園地帯の明治初中期、現・美濃加茂市古井町森山の状態、日露戦争 [0:16:46]
96. 美濃加茂市加茂野町稲辺/S43.9.1/M21 生(男)/稲辺の鯉・郡是製糸、日露戦争、普選前の有権者、民俗行事、正月の年頭・伊勢参り・いもち送り、おくわ様、むら芝居 映画 小作争議、明治・大正期の肥料・米価、小作地と開墾 [0:34:54] ②
97. 美濃加茂市加茂野町稲辺/S44.1.4/M11 生(男)/濃尾地震の体験、日露戦争、稲辺の池 [0:15:06] ②
98. 大垣市本町 内田ラシャ店/S43.8.12/M5 生(男)・M40 生(女)/大水の話(明治29年7月21日大洪水)、大

- 垣の町なみの話(昭和初期)、嫁入りのようす(昭和2年頃)、当時のカフェ・洋服の話(昭和初期)、女子の遊び・登校のようす(大正期) [0:13:11]
99. 関ヶ原町西町 話者宅/S43.8.13/M37 生(男)/合併問題・滋賀県とのつながりについての話、藤川村・玉・今須(昭和29年合併)、江濃地震(虎姫)の話(明治42年8月14日発生)、岩手小学校のやぐら門について(明治末期頃) [0:18:08]
100. 垂井町岩手字谷 話者宅/S43.8.7/M24 生(男)/東海道迂回線作りの協力のようす、川原 - 谷間の道路(クロス線にする)つけいえのための努力のようすについての話(昭19年大垣 - 関ヶ原間迂回線開通)、岩手川発電所計画の話(大正初め頃、5・6年)、電燈が岩手につくまでの話(大正11.7.6に点燈する)、岩手用水の各井水の改修の話・谷のため池作りのようす、乙井のマンボについての話など(昭和初期の頃)、ため池の水問題(水番)の話(大正初期・昭和19年) [0:21:48 + 1:02:48] ①
101. 大垣市北切石町 話者宅/S43.7.29,9.8/M26 生(男)/子供の頃の自転車や郵便馬車の話(M32~3年頃)、小・中学校の学校や通学のようす(明治の中・後期)、経済(通貨の価値)について(明治末~大正初)、電燈がひける前後の話(大正7・8年頃)、大正初期の軍隊生活(68連隊)・シベリア出兵・大陸での様子(大正、7年シベリア出兵の命令)、岐垣国道づくり(失業対策事業)・橋のない前の長良揖斐の渡しの様子、橋をつくる様子(昭和5年11月起工 - 10年完成)、小作争議の話(大正8・9年頃争議が激増する)、日露戦争当時の話(M37.2日露戦争始まる)、戦いの様子・軍隊歌をうたったこと・村の様子など、紀元2600年記念について(昭15年に式典が行われる)、済南事変の召集・復職の話(昭3.5.14動員令)、恐慌 - 蘇原銀行や預金者のようす(昭2金融恐慌)、長良川の舟の交通について(明40年頃から以降)、大工場進出と公害問題(大10年前後ぞくぞくできる)、(せんい工業 - 水不足・揖斐電 - 煙 昭和10年頃から問題化)、公害問題のデモのようす [2:10:20 + 0:01:58] ①
102. 関ヶ原町小池 話者宅/S43.8.13/M22 生(男)/東海道線(長浜廻り)開通当時の話(明治16年完成・明治33年廃止)、玉の火薬庫の歴史について(昭和中期~20年頃)、大正元年の大風(大正元年9月22-23日) [0:15:04 + 0:01:55] ①
103. 大垣市新町 話者宅/S43.8.5/M21 生(男)/小学校(六街学校)の話(明治30年代の頃)、小学校時代の遊び・勉強など、衣食住について(明治後期~大正期)、商売の変動 - 不景気(昭和3,4年頃)、町の変化・大水と台風について(明治29年7月21日大洪水)、養老線開通当時の話(大正2年7月養老線一部開通)、(大正8年8月養老線全線開通)、花火について(明治30年代の頃)、戦災当時の大垣の話(昭和20年7月29日被災す)、大垣船町の舟のようすについて(明治後期)、荷物・舟・人々など、自転車や人力車について(明治中期以降)、汽車の話(明治中期)、長住町の駅・電燈のついたころの話(明治42年電気社ができる)、(大正3年送電開始) [0:42:58 + 0:18:37] ①
104. 恵那郡加子母村小郷/S45.9.11/M20 生(女)/造り酒屋、おどり、文覚上人、こどものころ、娘のころ、結婚式、出産祝い、お正月・年中行事、葬式、日清戦争、学校、常備薬、とうふ・こんにゃく、芝居、化粧 [2:10:57] ②
105. 恵那郡加子母村 話者宅/S45.9.10/M8 生(男)/第一回国勢調査、学校 青年会 商売、産婆・医者、地芝居、御岳登山道、覚明行者、加子母の伝説、交通、梅村騒動、川狩り、出かせぎ 食物 狩猟、交通(以下伊藤郷土史家)、木地帰など、作物 [2:04:16] ②
106. 恵那郡岩村町/S45.9.7/M21 生(男)・M24 生(男)/明智鉄道(岩村電車)敷設時の話、電力不足、電車事故、米騒動、寒天づくり、自転車、街並み、電車乗客の減少 [2:00:05]
107. 可児郡御嵩町伏見/S45.9.4/M18 生(男)/出生地兼山町、太物商売のこと、小僧の仕事、木曾川の水運と兼山湊、着物の端切れを売る、五十集屋のサンマ、日清・日露戦争の兵隊生活、芝居、芸者遊びの朝帰り、木曾川の川遊び、丸山ダム、電車線、ひご作り、電気、下着 [1:36:02]
108. 郡上郡高鷲村/収録日不明/72歳(男)/高鷲の名前の由来など [0:12:47]
109. 不明地/収録日不明/話者生年不明/年貢、大根畑ほか [0:05:53]

## 110. 不明地／収録日不明／話者生年不明／履物、焚き火 [0:02:43]

上記、すべての資料に録音された総時間は、合計 110 時間 20 分 12 秒であった。これほどの分量に加え、方言研究で好まれる特徴ある地点以外にも、広く県内をカバーしている貴重な資料となっている。

方言資料以外の観点から見ても、もうひとつ重要な活用が期待される。岐阜県は、ブランド総合研究所 2016 年発表のデータによると、自慢度全国最下位・愛着度 45 位である。この汚名をすすぐために、岐阜県は、真剣に郷土教育を考えなければならない。県を造ってきたのは、有名な偉人だけではない。岐阜県でふつうに暮らしてきた庶民の近現代を知ることが欠かせない。当該資料は、上に示したようにさまざまな話題を含み、身近な人々の生活を垣間見ることができる資料となっている。さらに言えば、方言という身近なことで語られた音声資料は、よそ行きに取り繕われた文字化された資料にも増して訴える力をもつ。この 100 時間を超える音声資料「飛騨美濃古老の思い出話」を、県内小中高校における郷土史教育に広く、適切に利用していくことが期待される。

## 3. 音声資料と文字資料の対応

『山と水に生きる』に収められていない話は、5, 7, 8, 11, 25, 28, 30, 31, 34, 35, 36, 37, 39, 42, 46, 51, 52, 59, 60, 67, 69, 72, 83, 84, 88, 90, 95, 98, 99 の 29 話者分にも上る。CD に残された音声資料のおよそ 4 分の 1 のデータが文字起こしされないか、されても未刊行である。特に、30～37 の加茂郡データについては、多くが活字化されないままに放置されている。地域的な偏りも考慮にあったであろうが、貴重な話としてこのまま県民の共有財産にならないことはもったいない。

反対に、活字化はされているが、音声データの残っていない資料もある。特に、岐阜県図書館編(1970)に収録されている養老郡・海津郡の話に関する音声データは、今回調査の対象とした CD には収録されていない。西濃南部の音声データが欠落していることは残念なことである。いずれかの場所に保管されていて、耳にする機会があることを願う。また、33 の音声資料は、CD の劣化によって再生できない状態となっていた。

本に採録されている話についても、すべてが書き起こしされているわけではない。方言資料としての価値は、すでに紙幅も尽きようとしているため、続編を起して詳細を語りたいと考えているが、大雑把に時間だけを比較しても、大幅に省略されて文字資料化されている。内容として割愛されている部分も多くある上に、話しことばの特徴として他者の発言の直接引用も地の文に落とされている。具体的に 1 例を挙げると、岐阜県図書館(1971:118-119)には、「米騒動と多治見」と題された一節があり、43 字×14 行で約 600 字弱としてまとめられているが、音声資料では、関東大震災に関しての話も含め、9 分以上にわたって語られている。話の重複があったとしても 600 字はおよそ 2 分の内容であり、4 分の 3 以上の情報は文字化されないで済まされていることになる。

もちろん、活字化することの労力や、その刊行するための紙幅を考えれば、ぎりぎりの情報を載せたのであろうことは推察される。しかし、活字化されたものの何倍もの情報が音声資料には残っており、これを十分に聴くことによって、本では得られない情報も得ることができる。

残念ながらこれ以上を述べることは紙幅の都合によりできない。まずは、岐阜県図書館所蔵の録音資料「飛騨美濃古老の思い出話」が、岐阜県の生活史上、大きな価値をもつことを再確認し、その活字化された『山と水に生きる』の何倍もの情報量を有することを述べ、本考察を終える。次回は、音声資料の具体的な価値について、より詳細に述べていくこととする。

## 【付記】

本研究は、日本学術振興会科学研究費基盤研究(C)「昭和 40 年代採録岐阜県方言談話資料作成とその分析」(課題番号 17K02771、代表:山田敏弘)の研究成果の一部である。

岐阜県図書館の当該資料の存在については、岐阜県図書館企画課(当時)の加藤大志氏より教えていただき、同館総井淳子さんに著作権関係のご教授をいただいた。記して感謝申し上げる。

【参考文献】(本文中に引用した方言資料は除く)

- 岐阜県立図書館(1970)『山と水に生きる 中・西濃篇』岐阜県立図書館  
岐阜県立図書館(1971)『山と水に生きる 東濃・飛騨篇』岐阜県立図書館  
山口幸洋(2002-5)「岐阜県方言談話資料(1)-(4)」『名古屋・方言研究会会報』19-23  
山口幸洋(2006)「岐阜県徳山村戸入方言資料」『名古屋・方言研究会会報』23  
山田敏弘(2002)『ぎふ・ことばの研究ノート1 飛騨方言資料に見られる文法項目』私家版  
山田敏弘(2003)「郡上方言資料に見られる文法項目」『岐阜大学教育学部研究報告人文科学』52-1  
山田敏弘(2004)『みんなで使おっけ! 岐阜のことば』まつお出版  
山田敏弘(2006)『ぎふ・ことばの研究ノート5 東濃方言資料に見られる文法項目』私家版  
山田敏弘(2012a)『ぎふ・ことばの研究ノート10 西濃方言資料に見られる文法項目』私家版  
山田敏弘(2012b)『ぎふ・ことばの研究ノート11 岐阜県方言辞典Ⅰ ア〜コ』科研費成果刊行物  
山田敏弘(2012c)『ぎふ・ことばの研究ノート12 岐阜県方言辞典Ⅱ サ〜ト』科研費成果刊行物  
山田敏弘(2012d)『ぎふ・ことばの研究ノート13 岐阜県方言辞典Ⅲ ナ〜ン』科研費成果刊行物  
山田敏弘(2013)『ぎふ・ことばの研究ノート14 岐阜県方言辞典Ⅳ オノマトペ、幼児語、あいさつ・定式  
表現、比喩表現』科研費成果刊行物  
山田敏弘(2014)『ぎふ・ことばの研究ノート15 岐阜県方言辞典Ⅴ 文法』科研費成果刊行物  
山田敏弘(2017)『岐阜県方言辞典』岐阜大学活性化経費刊行物